



日本ライフセービング協会公認競技会
第5回神奈川県ジュニア/ユースライフセービング・プール競技会
【 競技審判員・スタッフ募集要項 】

- 開催日：2019年2月17日（日）
- 会場：平塚総合体育館温水プール（神奈川県平塚市1-1・平塚総合運動総合公園内）
- 主催：特定非営利活動法人神奈川県ライフセービング協会
- 後援：神奈川県・平塚市・平塚市教育委員会・一般社団法人神奈川県水泳連盟
日本ライフセービング協会（含申請中）
- 協賛：GUARD SHOP
- 協力：平塚市水泳協会・湘南ひらつかライフセービングクラブ
- 助成：スポーツ振興くじ助成「toto」

■競技種目：

[個人種目]

- ① 50mジュニアチューブスイム（小学生 1.2年混合）
- ② 50m障害物スイム（小学生 3.4年女子）
- ③ 50m障害物スイム（小学生 3.4年男子）
- ④ 50m障害物スイム（小学生 5.6年女子）
- ⑤ 50m障害物スイム（小学生 5.6年男子）
- ⑥ 100m障害物スイム（中学生 女子）
- ⑦ 100m障害物スイム（中学生 男子）
- ⑧ 100mレスキューチューブトウ（小学生 3.4年女子）
- ⑨ 100mレスキューチューブトウ（小学生 3.4年男子）
- ⑩ 100mレスキューチューブトウ（小学生 5.6年女子）
- ⑪ 100mレスキューチューブトウ（小学生 5.6年男子）
- ⑫ 100mマネキントウ・ウイズフィン（中学生 女子）
- ⑬ 100mマネキントウ・ウイズフィン（中学生 男子）

[チーム種目]

- ⑭ 4×50m障害物リレー（小学生 3～6年混合）
- ⑮ 4×50m障害物リレー（中学生 女子）
- ⑯ 4×50m障害物リレー（中学生 男子）
- ⑰ 4×50mレスキューチューブリレー（小学生 3～6年混合）
- ⑱ 4×50mメドレーリレー（中学生 女子）
- ⑲ 4×50mメドレーリレー（中学生 男子）

※ 全種目において、タイム決勝とします。

※ チーム種目については1クラブから複数チーム出場することができます。ただし、同一種目において同じ選手が複数チームから出場することはできません。

※ チーム種目「4×50m障害物リレー」（小学生 3～6年混合）「4×50mレスキューチューブリレー」（小学生 3～6年混合）において、男女同一および男女別は問いません。

※ 100mマネキントウ・ウイズフィンの種目については、**ハンドラー**が必要です。エントリーした競技者（小学生を除く）の中からマネキン・ハンドラーを選び、競技者と同じチームキャップを着用すること。

※ 使用するフィンは各自準備してください。なお、安全を考慮し**ゴムフィン**のみとします。カーボンファイバーやグラスファイバー素材などの硬いフィンは使用不可とします。

■タイムテーブル：締め切り後、当協会ウェブサイト「<http://lifesaving.ne.jp/>」に掲載します。

■募集概要：①審判員（C級審判員資格以上の方）35名程度

- 1) スターター……………スタートに関すること
- 2) マーシャル……………選手の招集に関すること
- 3) ターンジャッジ……………競技中の反則に関すること
- 4) レーンジャッジ……………競技中の反則に関すること
- 5) フィニッシュジャッジ・タイムキーパー…着順に関すること
- 6) 機械操作・スコアラ―…機械操作、記録の集計に関すること

②スタッフ 35名程度（中学生以上）

- 1) 安全課……………主にウォーミングアッププールの水面監視（5名程度）
 - 2) マネキン補助員……………マネキン競技・障害物競技に関すること（25名程度）
 - 3) 大会運営補助員……………大会事務局付きとして大会運営をサポート（3～5名程度）
- ※ 審判・スタッフとも担当係につきましては実行委員会で決めさせていただきます。
- ※ 審判員は、JLA 審判員履歴としてカウントされます。

■参加条件：①審判員

- ① 有効な審判員資格を取得していること
- ② 本年度、JLA 正会員、JLA 一般会員または JLA 準一般会員として登録していること
- ③ 本大会に選手登録をしていない方

②スタッフ

- 1) 中学生以上の方
- 2) 責任を持って役割を遂行できること
- 3) 安全課を担当する場合は、プールライフガードまたはサーフライフセーバーBASIC以上の資格を保持していること

■競技役員会議：

競技進行や競技上の注意事項について説明する会議を、大会当日 7 時 45 分より、プール玄関前にて実施いたしますので、審判員およびスタッフの方は必ずご出席ください。

■その他：

●交通費

1. 審判員…後日、実費交通費をご指定の口座までお振込みいたします。（上限 5,000 円）
 2. スタッフ…後日、実費交通費をご指定の口座までお振込みいたします。（上限 5,000 円）
- ※ 交通費は、お申込みサイト「交通費」欄にて「最寄り駅（バス停）」と「利用する公共交通機関名」「経路」をご記入の上、ご申請下さい。
- 特別運賃、特急料金等は計算の対象外となりますのでご注意ください。
- ※ お車で来場される場合も、公共交通機関（特別運賃、特急運賃等は除く）の運賃にて計算します。
- ※ 振込先金融機関口座名義は、必ずご本人と同じ名義の口座にてお願いいたします。助成金等支出に関する規定により、ご本人と口座名義が違う場合、お支払いできません。
- ご不明なことがございましたら、事前に事務局までお問合せ下さい。

●食 事

大会当日の昼食（お弁当）お茶（会場にて配布いたします）※朝食のご用意はありません。

●ユニフォーム

1. 審判員

公式ユニフォーム【白ポロシャツ・紺短パン・白帽子・審判員カード】を用意してください。また、笛、ペン、水着、室内シューズ（靴裏面が白）、靴下も各自準備願います。サンダル等（クロックスサンダルを含む）での参加はできません。

2. スタッフ

白いポロシャツまたは襟付きの白シャツ、チノパン、室内シューズを用意してください。また、競技役員スタッフは水着、ウェットスーツ、防寒着などを用意してください。

※ 審判員・スタッフとも、ご自分が所属しているチームユニフォーム等での参加はできません。

※ 大会中の貴重品は、各個人での管理をお願いします。

※ 大会中は、両手の空くウエストポーチをご活用ください。（肩掛けはご遠慮下さい）

■競技方法：本競技会規則は、日本ライフセービング協会発刊の「ライフセービング競技規則 2018 年版」に則り行います。ただし、記載のない種目については別に記します。

■交通：電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。お車でご来場される場合は、駐車場には台数に限りがございますので、お乗り合わせの上ご来場ください。

■お申込方法：当協会ホームページより「デジエントリー（外部サイト）」から申し込んでください。

2 次要項・役割分担表およびその他の情報はメールにてお知らせし、当協会ホームページに掲載いたします。迷惑メール対策をされている方は、デジエントリーからのメールを受信できるように設定をお願いいたします。

●申込み締切日：2019 年 1 月 18 日（金）23：59

【申込み・詳細】<http://lifesaving.ne.jp/>



特定非営利活動法人 神奈川県ライフセービング協会

〒251-0038 神奈川県藤沢市鶴沼松が岡 3-17-1



Phone: 0466-60-2212 FAX: 0466-60-2213

URL <http://lifesaving.ne.jp> E-mail info@lifesaving.ne.jp

信じよう。スポーツの力を。



FOR ALL SPORTS OF JAPAN

  toto や BIG の収益は、日本のあらゆるスポーツに役立てられています。

第5回 神奈川県ジュニア/ユースライフセービング・プール競技会参加規定

1 参加資格

選手の参加資格は下記を満たしている者、若しくは主催団体が特別に参加を認めた者でなければならない。

1-1 選手は、大会初日に各競技種目の区分またはそれと同様の年齢に達していること。

1-2 選手は、ライフセービングを志している者とする。

1-3 選手は、連続して100mを泳ぐことができる者（プール水深180cm）とする。

1-4 選手は、ライフセービングの競技であることを理解し、自分の出場する種目のルールを熟知していること。

1-5 選手は、自分の安全を確保するため十分練習を積まなければならない。

2 クラブ構成

2-1 クラブは、地域クラブや学校クラブなど、同じ団体に所属している選手により構成されていなければならない。

2-2 クラブは、代表者として必ず大学生以上で責任を持てる者を1名選出すること。

3 出場登録

3-1 選手は、あらかじめ所定の申込用紙（データ）を用い出場登録をしなければならない。なお、登録後の出場種目の変更および未登録種目への出場はできない。

3-2 出場登録は各個人でおこなうこと。

3-3 選手個人の技術や体力などを充分考慮してエントリーすること。

4 ユニフォームおよび競技中の衣類

4-1 式典や表彰式および競技に適したユニフォーム（なければ ジャージ等）、水着、キャップを持たなければならない。

4-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる選手も競技に参加することができない。

4-3 キャップは、クラブ全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。スタートの後に、キャップが取れたり、失ったりした場合、違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。

4-4 キャップは、競技会申込締切日までに、JLAより承認されているもの、または、申込締切日までに実行委員会に届け出たものとする。

4-5 クラブのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。

5 表彰

競技種目の上位1位から8位を入賞とする。また、1位から3位は表彰式で表彰する。なお、チーム総合表彰は行わない。

6 参加費

6-1 参加費は、出場する種目にかかわらず下記のとおりとする。

・ 小学1年・2年生：2,000円／人 ・ 小学3年～中学3年生：3,000円／人

6-2 参加費は、参加申込締切日までに支払わなければならない。

6-3 参加申込締め切り後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会のタイムスケジュール

ル変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。

6-4 参加選手が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費は返還されない。

6-5 出場種目の申込後に、出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。

7 競技器材

7-1 競技で使用する器材はライフセービング競技規則「第7章競技器材」の基準を満たさなければならない。本競技会使用するフィンにあっては、安全を考慮しゴムフィンのみとする。カーボンファイバーやグラスファイバー素材のなどの硬いフィンは使用不可とする。

7-2 プール競技で使用するレスキューチューブ、マネキン、障害物は、主催団体が用意するものとする。

7-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合は、その競技者はその器材を使用できないか、または失格となる。

8 競技規則

8-1 「ライフセービング競技規則（2018年版）」に則って行う。

8-2 本大会のスタート方法については、1回制とする。

8-3 全種目においてタイム決勝とする。

8-4 チーム種目において、4×50m障害物リレー（小学生3～6年）、4×50mレスキューチューブリレーにあっては指定された学年とともに男女混合チームおよび男女別のチームを編成してもよい。ただし、同じ競技者が複数のチームから同一種目に出場することはできない。

8-5 中学生のチーム種目にあっては男女の混合は認められない。

9 その他

9-1 大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像を本大会の広報およびライフセービングの広報の目的で使うことがある。

9-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。



9-3 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。

(以上)

信じよう。スポーツの力を。



FOR ALL SPORTS OF JAPAN

  toto や BIG の収益は、日本のあらゆるスポーツに役立てられています。

競技規則

50mジュニアチューブスイム

(1) 競技人数

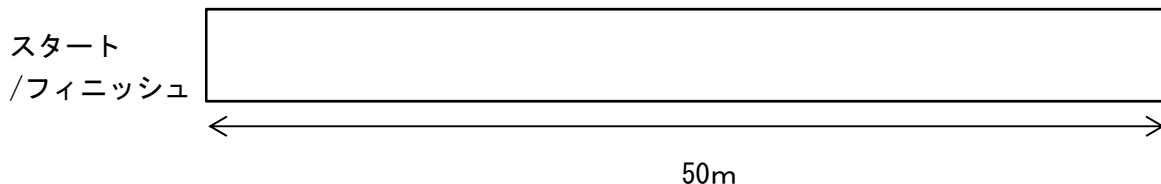
1名

(2) 使用器材

ジュニアチューブ

(3) コース

ジュニアチューブは、スタート前に競技者が安全な位置に準備する。



(4) 競技の方法

① スタートは、プール競技総則（飛込スタート）に準じる。

② 競技者はジュニアチューブをつけ、50m 泳ぐ。チューブを付けてスタートする場合、チューブの本体と紐は、競技者の判断で指定されたレーン内に位置させる。ただし、競技者は、チューブを付けたスタートが安全にできるようにしなければならない。

③ ゴールは、競技者がはっきりと見えるようにゴールの壁にタッチする。

(5) 失 格

総則（共通・プール競技総則）の違反に加えて、次のような場合は失格となる。

① 種目別の競技規則に違反した場合。

② プールの付属品（レーンロープ、階段、排水管、水中ホッケーの備品等）を補助として用いた場合。

③ 競技者がはっきりと見えるようにゴールの壁にタッチしなかった場合。

100mレスキューチューブトウ

(1) 競技人数

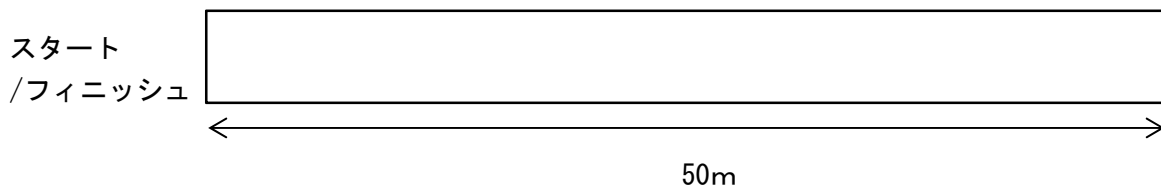
1名

(2) 使用器材

レスキューチューブ

(3) コース

チューブは、スタート前に競技者が安全な位置に準備する。



(4) 競技の方法

① スタートは、プール競技総則（飛込スタート）に準じる。

② 競技者は、レスキューチューブをつけて 50m 泳ぐ。レスキューチューブをつけてスタートする場合、レスキューチューブの本体と紐は、競技者の判断で指定されたコース内に位置させる。ただし、競技者は、レスキューチューブをつけたスタートが安全にできるようにしなければならない。

③ 競技者は、折返しの壁をタッチした後、プールの壁から 5m 以内でレスキューチューブの

オーリングとクリップの部分を正しくつけ、ゴールまでそれを引っ張る。

- ④ 競技者は、できるだけ速やかにレスキューチューブの紐を十分に伸ばした状態にしなければならない。
- ⑤ レスキューチューブのオーリングとクリップの部分が途中外れた場合は失格とする。
- ⑥ 50m 地点で壁にタッチする前にレスキューチューブ本体に触れてはならない。
- ⑦ ゴールはレスキューチューブを正しく引いている状態で、はっきりと見えるようにゴールの壁にタッチすること。

(5) 失格

総則（共通・プール競技総則）の違反に加えて、次のような場合は失格となる。

- ① 種目別の競技規則に違反した場合。
- ② プールの付属品（レーンロープ、階段、排水管、水中ホッケーの備品等）を補助として用いた場合。
- ③ 競技者がはっきりと見えるようにゴールの壁にタッチしなかった場合。

4×50mレスキューチューブリレー（小学生 3～6年）

(1) 競技人数

4名

(2) 使用器材

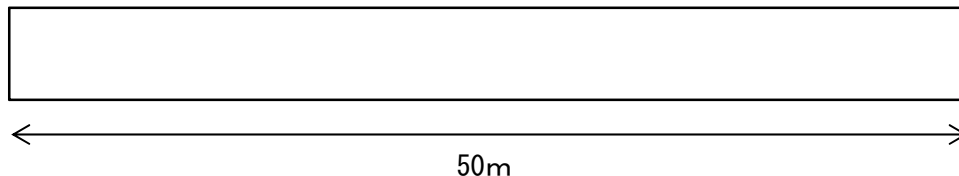
レスキューチューブ

(3) コース

特になし

スタート

/フィニッシュ



(4) 競技の方法

- ① スタートは、プール競技総則（飛込スタート）に準じる。
- ② 第1競技者は、スタートの合図の後、レスキューチューブをつけてスタート台からスタートし、レスキューチューブを引いて50m泳ぎ壁にタッチする。レスキューチューブを付けてスタートする場合、レスキューチューブの本体と紐は、競技者の判断で指定されたレーン内に位置させる。ただし、競技者は、レスキューチューブを付けたスタートが安全にできるようにしなければならない。
- ③ 第2、第3、第4競技者は、前の競技者がスタートしたら水中に入る。
- ④ 第2、第3、第4競技者は、少なくとも一方の手で壁に触れるか、またはスターティンググリップを掴んで水中で待機し第1、第2、第3競技者が50m泳ぎ、壁にタッチしたらレスキューチューブを受け取る。
- ⑤ 第2、第3競技者は、受け取ったレスキューチューブをつけて50m泳ぎ、壁にタッチしたらレスキューチューブを第3、第4競技者に受け渡す。
- ⑥ 第4競技者は、第3競技者からレスキューチューブを受け取り50m泳ぎ、はっきりと見えるようにゴールの壁にタッチする。
- ⑦ ゴールは、競技者がはっきりと見えるようにゴールの壁にタッチする。

(5) 失格


総則（共通・プール競技総則）の違反に加えて、次のような場合は失格となる。

- ① 種目別の競技規則に違反した場合。
- ② プールの付属品（レーンロープ、階段、排水管、水中ホッケーの備品等）を補助として用いた場合。
- ③ 競技者がはっきりと見えるようにゴールの壁にタッチしなかった場合。

信じよう。スポーツの力を。



FOR ALL SPORTS OF JAPAN

 toto や BIG の収益は、日本のあらゆるスポーツに役立てられています。